

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成31年2月7日 (2019.2.7)

【公開番号】特開2018-173697(P2018-173697A)  
 【公開日】平成30年11月8日 (2018.11.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2018-043  
 【出願番号】特願2017-69693(P2017-69693)  
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 30/02 (2012.01)

G 0 6 Q 50/30 (2012.01)

G 0 6 Q 50/10 (2012.01)

【F I】

G 0 6 Q 30/02 4 9 0

G 0 6 Q 50/30

G 0 6 Q 50/10

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月18日 (2018.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のユーザが共同利用し、従量制の料金を採用するサービスにおいて、各ユーザの利用料金を事前に算出する共同利用料金算出システムであって、

前記サービスに対するユーザの利用要求を受け付ける要求受付部と、

前記利用要求に応じて、前記従量制に基づいた前記ユーザの利用料金を、前記共同利用の可能性を踏まえて、該ユーザによる利用の開始前に算出する事前料金算出部とを備え、

前記事前料金算出部は、前記サービスの利用実績に対して各人が支払うべき料金を事後的に算出した教師データを利用した機械学習回帰により前記算出を行う際に、

予め用意されたユーザの利用中に他のユーザとの共同利用が生じ得る発生確率を記録した確率データに基づいて、前記利用要求に応じた発生確率を求め、該発生確率を反映させて前記料金の算出を行う共同利用料金算出システム。

【請求項 2】

請求項1記載の共同利用料金算出システムであって、

前記料金は、所定のパラメータに従った従量制の料金となっており、

前記事前料金算出部は、前記パラメータを用いた算出式によって前記料金を算出するよう構成され、該算出式に用いられる係数を前記機械学習によって求める共同利用料金算出システム。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 記載の共同利用料金算出システムであって、さらに、

前記利用要求に応じて利用されたサービスの実績を記録するとともに、前記事前料金算出部によって得られた料金に関わらず、該実績に基づいて該サービスを利用した各人が支払うべき料金を算出する事後料金算出部と、

前記事後料金算出部による結果を前記教師データに追加して、前記機械学習回帰の訓練を行う機械学習部とを備える共同利用料金算出システム。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 いずれか記載の共同利用料金算出システムであって、  
前記利用要求は、前記サービスの利用時期を含む属性を表す属性データを含んでおり、  
前記事前料金算出部は、前記属性データに対応した教師データを用いた機械学習回帰により料金の算出を行う共同利用料金算出システム。

【請求項 5】

複数のユーザが共同利用し、従量制の料金を採用するサービスにおいて、各ユーザの利用料金をコンピュータにより算出する共同利用料金算出方法であって、

前記コンピュータが実行するステップとして、

前記サービスに対するユーザの利用要求を受け付ける要求受付ステップと、

前記利用要求に応じて、前記従量制に基づいた前記ユーザの利用料金を、前記共同利用の可能性を踏まえて、該ユーザによる利用の開始前に算出する事前料金算出ステップとを備え、

前記事前料金算出ステップは、前記サービスの利用実績に対して各人が支払うべき料金を事後的に算出した教師データを利用した機械学習回帰により前記算出を行う際に、予め用意されたユーザの利用中に他のユーザとの共同利用が生じ得る発生確率を記録した確率データに基づいて、前記利用要求に応じた発生確率を求め、該発生確率を反映させて前記料金の算出を行う共同利用料金算出方法。

【請求項 6】

複数のユーザが共同利用し、従量制の料金を採用するサービスにおいて、各ユーザの利用料金をコンピュータにより算出するためのコンピュータプログラムであって、

前記サービスに対するユーザの利用要求を受け付ける要求受付機能と、

前記利用要求に応じて、前記従量制に基づいた前記ユーザの利用料金を、前記共同利用の可能性を踏まえて、該ユーザによる利用の開始前に算出する事前料金算出機能とをコンピュータに実現させ、

前記事前料金算出機能は、前記サービスの利用実績に対して各人が支払うべき料金を事後的に算出した教師データを利用した機械学習回帰により前記算出を行う際に、予め用意されたユーザの利用中に他のユーザとの共同利用が生じ得る発生確率を記録した確率データに基づいて、前記利用要求に応じた発生確率を求め、該発生確率を反映させて前記料金の算出を行う機能であるコンピュータプログラム。